



飯能市議会議員

鳥居のぶあき

飯能市緑町13-13

電話、FAXとも

042-974-0987

山鳩便り

平成24年6月議会

32号

ホームページをご覧ください

「鳥居のぶあき」の入力で検索できます



6月定例会 鳥居のぶあきの一般質問から

1) 防災について

問 九都県市合同防災訓練が9月にある。阪神淡路大震災の規模を想定しているが被害想定は

答 南高麗、原市場地区で家屋倒壊190件、火災1件、負傷者480人、死者3名を想定している。

要望 冬の夕刻6時、風速8mの地震想定にしては、被害が少なすぎる。次回の見直し時には修正を

問 九都県市合同防災訓練に中学校は不参加。来年度以降の市の防災訓練についての参加は

答 自治会等地域の人たちと話し合、見直して行きたい。幼・小・中学生が参加する合同訓練を行いたい。

問 震度6強を想定しているが、市役所本庁舎は耐えられるのか。

答 問題がある。



問 本庁舎が使えない時、富士見行政センターは指定避難所から除外し、行政センターの機能や市の業務を優先すべき。富士見小学校も一部を市役所の事務を行う様に検討すべきでは。

答 その時の被害の状況を見て判断する。

問 調布市では毎年4月第4土曜日を「防災教育の日」とし、市内全小・中学校28校、学校、保護者、地域住民が参加し、防災教育、避難訓練、児童引渡訓練、避難所開設訓練を行っている。

飯能市でも、企業や医療機関を加えて行う必要があると考えるが。

答 必要なこと。避難所開設、運営については自主防災会など地元住民と協議し、毎年やることが重要。

問 下田市では、地域防災訓練の際、中学生が準備会議から参加し、避難所に来るまでに担当の高齢者の安否確認をする役割も与えられている。飯能市として参考になるのでは。

答 PTA、地域と協議をして、避難所の清掃や物資運搬等中学生が参加する支援体制作りをしていきたい。

問 災害時、車のバッテリーだけで通信可能なアマチュア無線は有効な通信手段。配備を

答 南高麗行政センターにはある。今後通信の多重化を進めて行くので対象の一つとして検討したい。

問 学校が避難所の場合、自主運営が機能するまで教職員が中心となると思う。市はどう考える

答 被害状況の把握・報告や解放・非解放の区分指定や名簿作成などが当初必要と考えるが未知の領域。



問 避難所の備蓄庫は小学校のみ。名栗、原市場、南高麗、加治中学校は小学校と離れている。備蓄品の配備を。

答 名栗は消防団詰め所にもある。中学校への配備は山間地区から行う。

問 観光客は地理不案内。林道など山間地の道路には避難所や駅までの案内板が必要。設置を

答 避難誘導専用の案内板設置は難しい。今後の研究課題とする。